

令和8年度

# 「運営に関する計画」

大阪市立野中小学校

令和8年4月

## 現状と課題

### 【安全・安心な教育の推進】

本校の児童は全体的に落ち着いて学校生活を送っており、暴力的な行動も少なく、大きないじめの事例も見られない。

不登校児童への取組は、不登校の要因に家庭的な背景もあることなど、複雑な問題を抱えている児童もあり、解消については、区の子どもサポートネットやスクールカウンセラーなど、関係諸機関と連携しながら、多方面からアプローチを行ってきた。

校内アンケートの「学校は楽しいですか」の質問については、肯定的な回答が、90%以上あった学年もあるが、学年によって差がある。今年度も児童にとって、学校が安全で安心できる場であり、登校する意欲がわく楽しい場所になるよう、取組を進めていきたい。

「学校のきまりを守れていますか」の昨年度のアンケート結果は、平均して肯定的回答が90%以上の学年も多いものの、学年により差が見られた。今年度についても、規範意識を高め、児童が安心して登校できる取組を継続していきたい。また、昨年度の生活指導では、遅刻について課題が見られたため、今年度の取組で、児童が登校時間を守るような意識づけも図っていききたいと考えている。

本校は、自己肯定感、自尊心が低い傾向が何年も続いてきたため、ここ数年間に渡り、改善に向けて力を入れて取り組んでおり、近年は毎年改善傾向を示してきた。一昨年度の学力経年調査の結果では、「自分にはよいところがあると思う」という項目については肯定的な回答が平均して75%を超えることができたが、昨年度については、平均が68.9%という結果であった。学年により、大きく差が出ていることもあり、今年度についても、機会や場を捉え、児童に成就感、達成感を味わわせ、自己肯定感を高めていききたいと考えている。

### 【未来を切り拓く学力・体力の向上】

本校は、児童が落ち着いて学習に取り組んでいることや、算数科で習熟度少人数体制の指導にも力を入れて取り組んできたことなどから、昨年度の学力経年調査においても、大阪市の平均を上回る結果を得られる教科も多かった。しかし、学年によって、個人によって学力に大きな差もあらわれている。個別支援の充実をさらに工夫していく必要もある。

また、主体的・対話的で深い学びを進めるために、様々な教科や場面で話し合ったり、意見を交流したりする対話的な活動を持つことで、自分の考えを深めたり、広げたりすることができようにしていきたい。

体力に関しては、昨年度の全国体力・運動能力調査の結果については、男子は種目別に見ると、握力、シャトルラン、立ち幅跳び、ソフトボール投げに関しては、大阪市及び全国の平均を上回っていた。女子では握力、立ち幅跳びについては、大阪市や全国の平均を上回っていた。

「運動やスポーツをすることが好きですか」の質問には、女子の方が、肯定的回答の割合が大阪市や全国の平均より高い結果ではあった。今年度は、運動が好きな児童、進んで運動する児童を育てることに力を入れたいと考えている。運動の楽しさを味わうことができる遊びの教員研修会や、授業に活かせる体育の研修会を計画し、より児童の運動に対する意欲を高めていく計画を進めていきたい。

### 【学びを支える教育環境の充実】

昨年度も毎日の授業や学校生活の中で、一人一台端末を活用するよう取り組んできた。今年度も、個別最適な学びと協働的な学びが実現できるよう、一人一台端末をはじめ、ICTの効果的な活用の工夫を行っていく。

学校図書館に関しては、昨年度も図書館司書との連携をとりながら、図書館の活性化を図ってきた。図書館ボランティアの協力もあり、昨年度は昼休みなどの時間に、毎日開館することもできた。今年度についても学校図書館をさらに有効活用することで、学習時における利活用を図るとともに、図書室の本の充実を図り、読書好きな児童を増やしていきたいと考えている。

地域との連携については、生涯学習やはぐみネットなどの地域の方に協力をいただき、ともに児童の健全育成を進めることができた。これからも、保護者や地域の方々に関わっていただく学校行事の内容を検討し、有意義に実施していきたい。また、その様子をホームページなどで発信し、学校への理解を図っていききたいと考えている。

## 中期目標

### 【安全・安心な教育の推進】

- 令和 11 年度の小学校学力経年調査及び校内アンケートの「自分にはよいところがあると思いますか」の肯定的な回答を 73%以上にする。
- 令和 11 年度の小学校学力経年調査及び校内アンケートの「学校に行くのは楽しいですか」「すすんであいさつしていますか」の肯定的な回答を 83%以上にする。
- 令和 11 年度の校内調査において、暴力行為発生件数を 3 件以下にする。
- 令和 11 年度の小学校学力経年調査の「自分の大切さとともに他の人の大切さを認めることができますか。」「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 75%以上にする。
- 令和 11 年度の校内アンケートの「学校のきまり守っていますか」の肯定的回答をどの学年も 85%以上にする。

### 【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 小学校学力経年調査における、国語の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より 0.1 ポイント向上させる。
- 小学校学力経年調査における、算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より 0.1 ポイント向上させる。
- 令和11年度の小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができますか」に対して、最も肯定的に回答する児童の割合を35%以上にする。
- 令和 11 年度の全国体力、運動習慣調査において、各種目の対全国比を 1.00 以上にする。
- 令和11年度の小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して最も肯定的な「好き」を回答する児童の割合を70%以上にする。
- 規則正しい生活習慣を育成する。

### 【学びを支える教育環境の充実】

- 小学校学力経年調査における「授業で学習者用端末をどの程度使用しましたか」に対して、週 3 回以上と回答する児童の割合を 72%以上にする。
- 教員の 1 か月あたりの平均時間外勤務時間を月 20 時間以下とする。
- ゆとりの日を週に 1 回設定し、教員の時間外勤務の削減に取り組む。
- 令和 11 年度の小学校学力経年調査における「学校図書館や学級文庫、読書コーナーなど、学校内にあなたの読みたい本がありますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 70%以上にする。
- 令和 11 年度の校内アンケート（保護者向け）の「学校は教育活動や学校行事についてわかりやすく伝えよう努力している」「学校は、保護者や地域の方々が気軽に学校に来られるように努めている」の肯定的な回答を 87%以上にする。

## 2. 中期目標の達成に向けた年度目標

### 【安全・安心な教育の推進】

- 令和8年度の小学校学力経年調査及び校内アンケートの「自分にはよいところがあると思いますか」の肯定的な回答を70%以上にする。
- 令和8年度の小学校学力経年調査及び校内アンケートの「学校に行くのは楽しいですか」「すすんであいさつしていますか」の肯定的な回答を81%以上にする。
- 令和8年度の校内調査において、暴力行為発生件数を3件以下にする。
- 令和8年度の小学校学力経年調査の「自分の大切さとともに他の人の大切さを認めることができますか。」「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を70%以上にする。
- 令和8年度の校内アンケートの「学校のきまり守っていますか」の肯定的回答をどの学年も83%以上にする。

### 【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 小学校学力経年調査における、国語の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.1ポイント向上させる。
- 小学校学力経年調査における、算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.1ポイント向上させる。
- 令和8年度の小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができますか」に対して、最も肯定的に回答する児童の割合を32%以上にする。
- 令和8年度の全国体力、運動習慣調査において、各種目の対全国比を1.00以上にする。
- 令和8年度の小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して最も肯定的な「好き」を回答する児童の割合を67%以上にする。
- 規則正しい生活習慣を育成する。

### 【学びを支える教育環境の充実】

- 小学校学力経年調査における「授業で学習者用端末をどの程度使用しましたか」に対して、週3回以上と回答する児童の割合を67%以上にする。
- 教員の1か月あたりの平均時間外勤務時間を月25時間以下とする。
- ゆとりの日を週に1回設定し、教員の時間外勤務の削減に取り組む。
- 令和8年度の小学校学力経年調査における「学校図書館や学級文庫、読書コーナーなど、学校内にあなたの読みたい本がありますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を67%以上にする。
- 令和8年度の校内アンケート（保護者向け）の「学校は教育活動や学校行事についてわかりやすく伝えよう努力している」「学校は、保護者や地域の方々が気軽に学校に来られるように努めている」の肯定的な回答を84%以上にする。

大阪市立野中小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	進捗状況
<p><b>【最重要目標1 安全・安心な教育の推進】</b></p> <p>○ 令和8年度の小学校学力経年調査及び校内アンケートの「自分にはよいところがあると思いますか」の肯定的な回答を70%以上にする。</p> <p>○ 令和8年度の小学校学力経年調査及び校内アンケートの「学校に行くのは楽しいですか」「すすんであいさつしていますか」の肯定的な回答を81%以上にする。</p> <p>○ 令和8年度の校内調査において、暴力行為発生件数を3件以下にする。</p> <p>○ 令和8年度の小学校学力経年調査の「自分の大切さとともに他の人の大切さを認めることができますか。」「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を70%以上にする。</p> <p>○ 令和8年度の校内アンケートの「学校のきまり守っていますか」の肯定的回答をどの学年も83%以上にする。</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①<b>【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現】</b></p> <p>児童が安心して落ち着いて学校生活をおくれるよう規範意識を高める。</p> <p style="text-align: right;">( )</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>指標</p> <p>○児童の規範意識を高める機会を設ける。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学期に1回の「ふり返り週間2ウィーク」を設ける。 (あいさつ・登下校の遅刻、寄り道)</li> <li>・年に2回の児童会による「あいさつ運動」の取り組みを行う。</li> <li>・毎回の児童朝会で啓発する。</li> <li>・看護当番によって登校時と休み時間に啓発する。</li> <li>・8時30分に健康観察に合わせて着席できているか確認する。</li> <li>・年に3回のアンケートで規範意識の高まりを調べる。 (すすんであいさつしよう。登下校マスターになろう。)</li> </ul> <p>○いじめに対する取組を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いじめ相談機能を活用し、いじめ対策委員会で情報を共有し対応する。</li> <li>・いじめアンケートを学期に1回実施する。</li> <li>・いじめ防止強調週間を設け、互いの良さを認め合い、いじめを未然に防ぐ。</li> </ul>	

<p>取組内容②【基本的な方向2 豊かな心の育成】          自分に自信を持ち、自らがかけがえのない大切な存在であると実感するとともに、他の人を大切しようとする意識を育てる。 ( )</p> <hr/> <p>指標</p> <p>○一人ひとりのよさを認めるとともに、活動のなかで互いのよさに気付かせるよう工夫することによって、思いやりのある、尊重できる集団づくりをすすめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 共によりよく生きようとする集団作り</li> <li>・ 異学年交流を通じた、リーダーシップ、フォロワーシップの育成</li> </ul> <p>○ゲストティーチャーとのふれあいや体験活動を通して、社会に関心をもたせるとともに、地域への愛着や地域の一員としての意識を育む。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 年間を通して行う縦割り班での地域清掃活動や全校児童地域清掃活動（年一回）の実施</li> <li>・ 学年に応じた体験活動の実施</li> </ul> <p>○道徳教育、人権教育の推進（カリキュラムマネジメントの工夫）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「いじめについて考える日」「いのちについて考える日」の取組を効果的に行うことで、自らがかけがえのない大切な存在であることを実感させ、他の人も大切にしようとする姿勢を育てる。</li> <li>・ 道徳科の授業や人権の取組を学習参観時に年1回以上行い、家庭との連携を進めていく。</li> </ul>	
<hr/>	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
<p>【取組内容】①について</p> <p>【取組内容】②について</p>	
次年度への改善点	
<p>【取組内容】①について</p> <p>【取組内容】②について</p>	

(様大阪市立野中小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート))

評価基準 A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	進捗状況
<p><b>【最重要目標2 未来を切り拓く学力・体力の向上】</b></p> <p>○小学校学力経年調査における、国語の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.1ポイント向上させる。</p> <p>○小学校学力経年調査における、算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.1ポイント向上させる。</p> <p>○令和8年度の小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか」に対して、最も肯定的に回答する児童の割合を32%以上にする。</p> <p>○令和8年度の全国体力、運動習慣調査において、各種目の対全国比を1.00以上にする。</p> <p>○令和8年度の小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して最も肯定的な「好き」を回答する児童の割合を67%以上にする。</p> <p>○規則正しい生活習慣を育成する。</p>	
<p>年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標</p>	<p>進捗状況</p>
<p>取組内容①【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>「主体的・対話的で深い学び」を追求し、個別支援の充実を図る。</p> <p style="text-align: right;">( )</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 少人数学習を実施し、児童同士での学び合いを大切にしながら、学力の定着を図る。</li> <li>○ 個別最適な学びができるよう、学習端末を持って帰り自分に合った家庭学習ができるようにする。</li> <li>○ 考えを深めたり、広げたりできるように、ペア、グループ、全体で意見交流を週に3回以上取り組む。</li> <li>○ 教員の授業力を高めるために、計画的に研修を進めていく。また、若手研修を学期に1回は実施し、指導力向上を図る。若手研修については年数に関係なく希望者は、参加できるようにする。</li> </ul>	

<p>取組内容②【基本的な方向5 健やかな体の育成】</p> <p>児童が進んで楽しく運動できるような工夫を行う。また、児童自身が健康に関心を持ち、規則正しい生活習慣を身に着けることができるようにする。( )</p> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○児童がいろいろな運動に親しむ機会を増やすために、なわとびなどが得意な児童が発表する場を作る。</li> <li>○運動の楽しさを味わうことができるように、授業の指導法を工夫したり、遊びの幅を広げたりする。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業の指導法を共有する。</li> <li>・固定遊具の遊び方カードを作成し、遊具を使って遊ぼうとする意欲を育てる。</li> </ul> </li> <li>○規則正しい生活習慣を育成するために、学期に1回、健康週間を実施し、意識を高めることができるようにする。</li> </ul>	
<p>取組内容( )</p>	
<hr/> <p>指標</p>	
<p>年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析</p>	
<p>【取組内容】①について</p> <p>【取組内容】②について</p>	
<p>次年度への改善点</p>	
<p>【取組内容】①について</p> <p>【取組内容】②について</p>	

大阪市立野中小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	進捗状況
<p><b>【最重要目標3 学びを支える教育環境の充実】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 小学校学力経年調査における「授業で学習者用端末をどの程度使用しましたか」に対して、週3回以上と回答する児童の割合を67%以上にする。</li> <li>○ 教員の1か月あたりの平均時間外勤務時間を月25時間以下とする。</li> <li>○ ゆとりの日を週に1回設定し、教員の時間外勤務の削減に取り組む。</li> <li>○ 令和8年度の小学校学力経年調査における「学校図書館や学級文庫、読書コーナーなど、学校内にあなたの読みたい本がありますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を67%以上にする。</li> <li>○ 令和8年度の校内アンケート（保護者向け）の「学校は教育活動や学校行事についてわかりやすく伝えよう努力している」「学校は、保護者や地域の方々が気軽に学校に来られるように努めている」の肯定的な回答を84%以上にする。</li> </ul>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容① <b>【基本的な方向6 教育DXの推進】</b></p> <p>ICTを効果的に活用し、児童の学習意欲を高め、個別最適な学びおよび協同的な学びを進めていく工夫をする。（ ）</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○授業で毎日学習者用端末を活用する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・個に応じて教科書やデジタルドリルの問題を端末で解答させたり、生成AIなどの様々な機能を活用したりして、学習の定着を図る。</li> <li>・児童用デジタル教科書（5,6年 算数・英語）を活用する。</li> <li>・各学年の実態に応じたICTの活用をするために、ICT支援員との連携を図る。</li> </ul> </li> <li>○指導者用デジタル教科書を活用する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・大型テレビに映し、視覚的にもわかりやすくしながら学力の定着を図る。</li> </ul> </li> <li>○教員のICT研修を実施し、活用能力を高める。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・校内研修日を学期に一回開く。</li> <li>・ショート研修によって教員のICT活用能力の向上を図る。</li> </ul> </li> </ul>	

<p>取組内容②【基本的な方向 8 生涯学習の支援】        学びの場として、学校図書館を活性化し、授業での様々な学習における利活用を促進する。 ( )</p>	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○毎日昼休みに図書委員会による図書館開放をすることで、読書をする環境を整え、本を読む機会を増やす。</li> <li>○年に1回読書週間を設け、全校児童で本の紹介カードを書き、読み合うことで読書への興味関心を高めるようにする。</li> <li>○図書館だよりで面白い本や楽しい本の紹介をし、本に関する知識を増やすようにする。</li> <li>○読みたい本を選びやすいように図書館の環境を整える。</li> </ul>	
<p>取組内容③【基本的な方向 9 家庭・地域等と連携・協働した教育の推進】        保護者や地域との交流を深め、地域の一員としての自覚を高めるとともに、学校の様子をより理解してもらえよう情報発信の仕方を工夫する ( )</p>	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○地域との交流を行う。           <ul style="list-style-type: none"> <li>・読み聞かせ・昔あそび・収穫祭・おもいパーティー・ステンシル体験・リバーウォッチャー等</li> </ul> </li> <li>○学校だよりを地域で回覧してもらう。</li> <li>○学校ホームページで情報を発信する。           <ul style="list-style-type: none"> <li>・各学年の新作記事を最低月2回は更新する。</li> <li>・学校だより、学年だよりを学校ホームページで閲覧できるようにする。</li> </ul> </li> <li>○学校からの配布プリントをミマモルメで配信し、保護者が必要な時に閲覧できるようにする。</li> <li>○地域とのボランティア活動(縦割り班清掃・地域清掃など)を実施する</li> </ul>	
<p>年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析</p>	
<p>【取組内容】①について</p> <p>【取組内容】②について</p> <p>【取組内容】③について</p>	
<p>次年度への改善点</p>	
<p>【取組内容】①について</p> <p>【取組内容】②について</p> <p>【取組内容】③について</p>	